

安住院便り

令和5年8月1日発行

(第51号) **〒703-8236**

岡山市中区国富3丁目1-29 住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

まつり」と宝 物 展

しにえ 頂師二にのれ衆を た感が荘き様回参年ま寺祝六 謝満厳まとに加でし院う月 致ちなしご分しすたの「十 しあ堂た縁けて 。。主青五 をて頂ま本催葉日 まふ内 すれに 結、けた年にま 、はよつ弘 る び特る 、別法コ いり法 南 当特無 稚な会口御、一大 に別大 児受とナ誕安が師 あな師 大戒な禍生住 師会りで一院真空 り法遍 にに、三二に言海 が会照 とに金 甘参午年五お宗和 うな剛 茶加前ぶ〇い岡尚 っニ をし・り年て山の ざたの 注、午にの開市御 いこお いお後皆記催内誕

で大の様念さ結生

興歴のの書院『た於 れたに安 住檀味史機古籍資寺

い六 十 **元** 五 H 四

て月 安 住; 院十 宝八 物日 展の を日 開間 催 致 理 し證 ま院 しに

まと唱



願後らと寺院信を的会文が料院 いともと院と徒持にに書発の文 致も続思資いのつも詳の刊調献 う皆て貴し中さ査資 けい料 お様頂重くかれと料 ま当てまの 院はする。一点にはない。 研学 す限たもの を発 。要 のき 護た何性 知っっず、 持いかも と多い展紹臨開 に事と認 ご業大識 で変 協 し らのまりいまれ店四 すで て 力 すいう方す ました 0 がたと々 皆すた安と「 程 様が。住い安 宜 、だ同に こけ時 別院う住 に

安住院ホームページ http://www.anjuin.com/

掌

送り 火法: 会のご案 内

精檀 霊信安 送徒 る 住 りの 八 院 を 皆本 月 行様堂午十 い方前後五 まのの五日 光境内は す。 火 より 曜 供に 養 て、



申し込み 5込みをお願い安供養も行いよ ま 41 ずの 致 Û うます。 で、

例の 年灯岡 通籠山 り流市 開し仏 開催されます。 ひは、八月十六日 は教会主催の西 六日 西 Ш で

> と年少組 (兄弟で、 一人とも幼稚園が大好きで少組に元気に通っていまれで、同じ幼稚園の年長組



養 老 孟 司 先 生 講 演 会

十 年お を 大 記師 念 様 し 御 て、 誕 生 六月 千二 十 百 日五



て が 朝 に主へ 於 養 催日 話 にださ 老 いに 催 七 され 孟 ょ à b, 員き入って○○名の皆? ŋ 司 まし 先 岡 宗 生 山 た。 岡 記 プ ラ山 いの様 念 ザ市 ま柔が ならかいなかれ 演 ホ 内 会 テ結

UL

安 住 院 中 門 修 復 完 成

是瓦た非も、 を 非も 中昨 新客心年 殿に末 しく立派になりました殿の中門が完成し、に修復工事を行って末から、屋根の葺替 越し下さい。 っては見れる。



善 通 寺 寸

ル 衆

続きですのである。 続きですのですのですのである。 続きでする。 た、香川県の と題した特別で とものでする。 がある。 がある。 がある。 をものでする。 でする。 です。 でする。 です。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 生 四 香の月 キョュージ特別ご のり川大 秘仏 し県法 7別ご開 十 :別展 ま の 会 し ジアムで「空海 • 総 が 瞬目(め も、 た。 本 開 山催弘 ゆっく (b) さ 法 ŋ, 善れ大 Ú 通て師 き り 寺い御

致 続 瀬 戸 宜しくた。 宝しくた。 しくお 霊 願 場 0 W

